

栃木中央地域包括支援センター 担当

日 時： 令和7年12月16日（火）午後1時30分～2時10分

会 場： 栃木市役所401会議室

事例数： 1ケース

参加者数： 10名

事例提供者1名、助言者7名、包括職員2名、

右半身の痺れ、肩の痛みのため活動に制限が生じている 70 歳男性。

〈目標〉1日:公園で歩く

1年:右足を引きずらずに歩けるようになる

利用サービス：介護予防通所介護（従前）

《生活全般の解決すべき課題》

- ・病気の再発による機能の低下を防ぐ必要がある。
- ・庭仕事等、自身の役割を続けていく必要がある。
- ・外出して、他の人とも話したり楽しみをもって過ごす必要がある。
- ・家族関係を再構築し、介護を共に支えていける体制を整える必要がある。

《助言者からの助言内容》

- ・夜間の頻尿には様々な病気のリスクがあるため、専門医に相談できると良い。
- ・口腔ケアが病気の再発防止につながるため、身体状況に合った歯ブラシの使用や食事の摂取ができると良い。
- ・薬によっては、眠気や力の入りにくさから転倒リスクが上がるため、医師と相談しながら調整ができると良い。
- ・過去に転倒した際の状況を分析することで、今後の転倒防止策を考えることができる。
- ・妻の介護負担が重くなりすぎないようにモニタリングしていく必要がある。
- ・庭仕事は、サービス等で対処できる可能性もあるが、生きがいを奪う危うさもあり、慎重な対応が必要。



・不調の原因を明確にし、必要なケアやリハビリを行う。

☆地域課題（地域に不足、再構築を図りたい支援・サービス等）

転入した高齢者の地域との関係づくり